

はじめまして、**暑い**地域の**熱い**男

は
せ
が
わ

ひ
ろ
た
だ

長
谷
川

洋
正

で
す

埼玉県熊谷市にある
無添加住宅のサカエプラスにて
建設事業部長を
させていただきます。



46歳(S47年3月生)
子供3人
血液型:B型
趣味:カメラ

血筋の目覚め

実は、出身は埼玉でなく江戸っ子です。祖父は昔堅気のおっかない**家具職人**でした。そんな祖父に育てられた父も、祖父の後を継いで兄弟と共に東京都港区麻布十番で家具屋を営んでおりました。父も、根っからの職人気質で、家具の修理やものづくりの職人でした。

私が幼少期のころ埼玉県に移り住みました。

理由は、喘息やアレルギー体質だった私の為、両親が少しでも空気のいいところで療養させたことだったと聞いております。当時は、喘息やアレルギーなどは、虚弱体質としてかたづけられていました。今思えば、ちょうど日本の高度成長期。東京は工場や車の排気ガスがもの凄かったことと想像します。

そんな、両親の予定外の家づくりは、手痛い失敗から始まりました。

最初に気に入った土地購入の際、不動産屋に騙され、手付金も持ち逃げされてしまったのです！

その後、資金不足もあり、やっとの思いで、できた家は結局、庭づくりまでの予算回らず、父に強制的に庭造りを手伝わされました。

皆さん「北の国から」という日本のTVドラマをご存知ですか？
東京から一変した、田舎暮らし。まさに**私はジュン**でした！

小学生で嫌々手伝わされた土木作業。つらくて、楽しくなくて苦痛でした。ですが、なんで、なんでしよう？

知らず知らずのうちに楽しんでる自分がいました。

そんな庭造りを楽しみ始めたころから、私の「**ものづくり血筋**」が目覚めたのです。



トップセールスから独立の覚悟

大学を卒業し、埼玉県熊谷市で最大手の不動産建設業者へ入社。

父が家を建てる際に不動産で手痛い目にあっただことから、騙されない一心で、その門を叩いたのです。当時バブル崩壊後のどん底でした。黙ってもお客様が来る時代は終わり、最も過酷な飛び込み・電話セールスと自らお客様を探す日々でした。業界に入り2年が経とうとする時、人生を最初のターニングポイントを迎えることになりました。直属の上司が独立を目指し退職すると言ったのです。私は尊敬していた上司に「付いていきたい！」と嘆願したところ、「先行きどうなるか分からない会社に、お前を雇うだけ余裕はない！どうしても言うのなら、**今の会社でトップセールスを取る実力ができたら来い！**」と突き放されました。

当時の自分では、何の役にも立たないことに気づかされました。

先の見えない世界に飛び込む上司の覚悟を目の当たりにして

自分の覚悟も決まったのです。

半年後、与えられた目標のトップセールスを達成し約束果たしました。

そして、その**上司が現社長となり株式会社サカエホームプラスを共に開業したのです。**

運命を変える家づくり

創業当時から**少数精鋭**という経営方針で、会社を大きくすることより、小さくても永く愛される会社になりたいと考えておりました。ですから、事業の構成は**不動産業が90%**の売上で、小さな会社到家づくりを任せていただけるお客様はほんの一握りにすぎませんでした。

ですが、私は家づくりが大好き。もっともつとこだわった家づくりがしたい！
そう、ものづくりの血筋が疼いていました。

そんな2008年春、東京ビックサイトで開催されたビルダーズショーにて、運命を変える家づくりと出会ったのです。

それが「無添加住宅」です。

「新築してもそこに住めない人がいるのをご存知ですか？」と不意に声をかけられ、説明を受けた内容に

ハンマーで頭を殴られたような衝撃を受けました。

「天井・壁のビニールクロス、床材のフローリング、接着剤で固めた集成材等当たり前の家づくりが病気になる！？本当なのか！？」



確かめるために無添加住宅の本部に訪れました。化学接着剤だけでなく天然素材でも毒性の有るものは一切使わない究極の家づくり。無添加住宅は本物でした。

振り返って見れば身の回りでも思い当たる節がありました。私が建てた家は全部接着剤等石油でできた家だったからです。新築に住みはじめてから5年、妻がよく頭が痛い、部屋の匂いが気になる騒いでいたのです。また、生まれてきた子供はアレルギー持ちでした。

そういう事か！ **石油でできた家が原因か！！**

自分が拘っていた家づくりで、身近な家族にも影響を与えていたなんて全く想像もしていませんでした。すぐに代理店契約を結び自宅を漆喰でリフォームしました。

結果、妻が頭痛くない！子供のアレルギーが消えた！とき面でした！

このとき自分の一生かける、造るべき家が見つかった。そう心から思いました。

石油を使わない。空気を第一に考えた家づくりで

未来の子供たちの健康を守りたい！



熱い、熱い想いでスタートしたサカエプラスの無添加住宅でした。

無添加住宅を広めるために、この熱い思いを協力してくれる大工、左官、電気、設備等の仲間に加え、共に苦労を重ねながら、**地元の無添加住宅チーム**ができました。

少数精鋭で生きる。 弊社が100年残る会社にする事よりも、地元の協力業者に、この家づくりを身につけて共有して残すことで、代々、伝わりと考えたからです。今では、弊社で家づくりするお客様に全ての協力業者を紹介して繋いでいます。

これは、仮に弊社が万が一のことになっても、地元の心強い業者とお客様が繋がっていくことで盤石で安心なアフターフォローにつながるからです。少数精鋭で造ること数多くの家をつくることはできません。年間10棟が限界です。だからこそ一棟一棟目の行き届く提案やサービスが可能となりました。

工務店として本物の無添加住宅づくりから不動産としての土地提案まで**ワンストップ**で相談できる体制となりました。

地元で愛される会社になってきた自負しています。



デザインを極める

無添加住宅という素晴らしい家づくりを広めるには足りないものがありました。シックハウス等、自分の経験談を踏まえお客様に訴えたところで、症状で悩んでいない人には伝わらないのです。シックハウスの深刻さ、なんて目で見てわからないからです。

そこで見せる**モデルハウスを10年間で5棟**造りました。

徐々に「真っ白で素敵！ナチュラルでかわいい！」と外観から女性に支持され始めたのです。

その時初めて**「外観デザインが重要性」**に気づきました。

女性だって男性だってみんな同じです。外観の第一印象が大切だと。

その後、私はデザインを磨く研修や勉強を必死に取り組みました。

自分の感性が試される**「ものづくり血筋」**がぶくぶくと沸騰してきました。ワクワクしてきました。

現在、無添加住宅の中でも少数しかない**無添加住宅認定プランナー**の称号を頂いております。



数々の賞を受賞する。

無添加住宅では年1回総会が開かれます。北海道〜沖縄までの全国総会です。前年の成績や貢献している会社が表彰受けます。今では、その代理店総会にて数々の賞を受賞することとなりました。

全国無添加住宅での表彰歴

- | | | |
|-------|----------|---------|
| 2009年 | 外観部門デザイン | 最優秀賞 |
| 2012年 | 外観部門デザイン | 最優秀賞 |
| 2012年 | 第一回設計コンペ | 優勝 |
| 2013年 | 第一回設計コンペ | 入賞 |
| 2014年 | 第三回設計コンペ | 優勝 |
| 2015年 | 第四回設計コンペ | 入賞 |
| 2016年 | 第五回設計コンペ | 入賞 |
| 2017年 | デザインアワード | 導入アイコン賞 |
| 2018年 | 無添加住宅表彰 | 特別賞受賞 |

全国でも、デザインのサカエプラスと評判を
頂くまでになりました！



未来の子供たちの為に伝えるべき家

無添加住宅は、全国で160社を超える会社が加盟する大規模な組織になりました。

同じ志を持つ仲間がこんなに集まった！心の底から一代理店の一営業として嬉しいです！

私がお客様によく話す自慢話。

「もしかすると私の知らない事まだまだ有りますが、それでも大丈夫です安心してくださ
い！だって私には**北海道〜沖縄までの同志に相談できる**からです！」

よくお客様に言われることがあります。

「長谷川さん私たちより私たちの家づくり楽しんでない？」

私はこう答えます。

「ハイ。**毎回自分の家のことのように楽しませていただいています。**

天職です！」

今現在の弊社の売上構成は不動産業50%と

建築業50%の不況に負けない体制になりました。

これからも未来の子供たちの為に無添加住宅を

埼玉県で伝えていきます。

是非、皆さんの家づくりに熱い気持ちをぶつけさせてください。

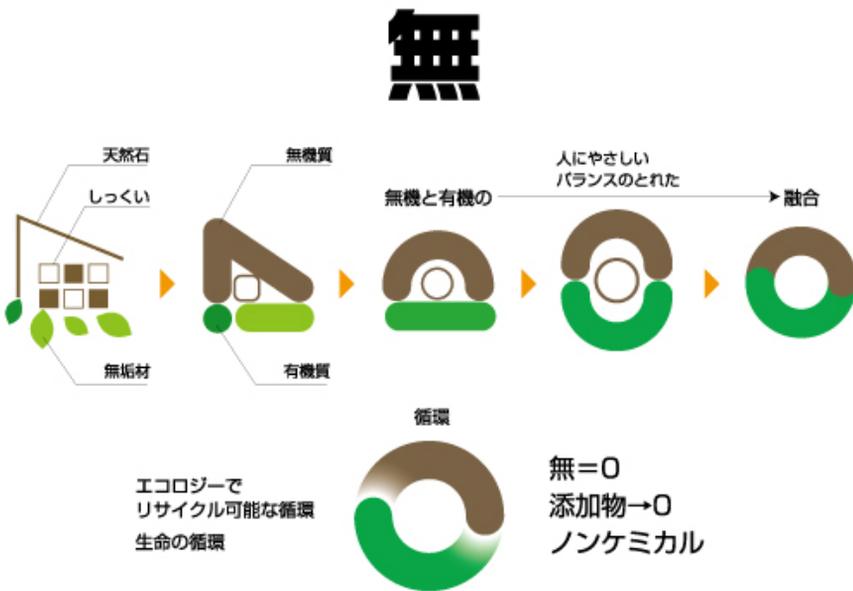


シンボルマークの成り立ち。

これは余談ですが、**無添加住宅のシンボルマークもコンペで優勝**しました。汎用性から最終デザインは進化しましたが、「体に悪いものは一切無し」という**(無=0)**想いは受け継がれています。

シンボルマークの成り立ち

このシンボルマークは、代理店様からコンペによりいただいた、マークを基本に設計しています。有機と無機の融合から生命の循環を創造し、地球環境に負荷の無いエコロジーで再生可能な概念と、人に悪影響を及ぼす化学物質の添加がない無添加=0をシンボル化しています。



 **無添加住宅®**